

「子どもとつくる科学遊び研究会」が広島市東区で開催された、「ものづくりチャレンジラボ！～科学の不思議を楽しみ、失敗から学ぶ～」を見学しました。

2023年11月25日(土)東区の広島女学院大学を訪問し、中山先生と女子大生が主催する「ものづくりチャレンジラボ！第8回」を見学しました。今回のテーマは、～空気で遊ぶ～で、空気に関する現象がものづくりを通して体験ができるものでした。小学生7名(男子2名、女子5名)が、ボランティア学生5名から空気を実感できる簡単な科学遊びについて実技を交えて説明してもらった後、ペットボトルや段ボールを使って工作し、できたもので空気の動きを実



感していました。風船を使ったり、スモークを使ったりして、普段は目に見えない空気を見える形にして体験できる工夫をされていました。大学生はこの日のために代表の中山先生からやり方を習い準備を重ねてきました。基本的には2回(基礎/発展)の講座がセットになっており、今日やったことを基に次回の開催ではその発展形を開催する構成になっています。今回の講座では、作成

した段ボール空気砲の発射口の形を変えたらどんな形のけむりがでるか？を予想させ、次回、実際に確認することができるような仕組みになっており、小学生が自ら仮説を検証するサイクルで構成されており良い企画だと感じました。



1年間通して参加している子供が多いこともあり、大学生とはすでに仲良しで、講座の開始前から、小学校での出来事などで談笑しており、とても良い雰囲気が作られているのが印象的でした。

指導する側の大学生は教員を目指しており、普段は小学生とコミュニケーションをとる機会が少ないため、良い経験になっているようで、双方に良い効果のある取り組みだと感じました。

#### <子どもとつくる科学遊び研究会>

2022年に結成された団体で、子どもたちがものづくりによる科学体験を通じて、科学の楽しさやふしぎを感じ、失敗しても粘り強くチャレンジしようとする力(レジリエンス)を養うことを目的としています。この団体の大学生と地域の小学生が月に一度集まって、大学生が提案した体験を年間11回開催されています。(佐々木)